

「建国記念の日」不承認
大阪府民のつどい
2月11日(土)13:30～
たかつガーデン 8階
定員141名限定のため、インターネット配信されます。

泉北教育

NO.2191 2021.1.12
発行 泉北教職員組合
〒594-0071 和泉市府中町6-12-2
0725-41-1953 Fax0725-44-6570
E-mail senboku@gf6.so-net.ne.jp

政府予算案 少人数学級は前進 教職員定数減・デジタル化推進

学年進行で35人学級

12月に発表された来年度予算案に「義務標準法を改正し、小学校について学級編制の標準を5年かけて、学年進行で35人学級に計画的に引き下げる」ことが盛り込まれました。

これは、2011年度に小学校1年生の学級編制標準を35人と改正して以来10年ぶりの前進で、小学校全学年35人学級は1980年の編制基準引き下げ（45人学級から40人学級へ）以来41年ぶりの前進です。しかしながら、



学級編制標準引き下げが

小学校だけで止まり、中学校以上では何も変更がない。

学年進行で5年かけて完成させるといふスピード感の無さ（現在の小2は、小3～卒業まで40人のまま）

コロナ禍のもとで、文科省が実施するとしていた「30人学級」が実現されなかった。

ことなど、課題は多く残されています。

防衛予算は増

文教予算は減

来年度予算案の総額は100兆円を超え、3年連続で過去最大を更新しましたが、文教関係予算は、昨年度を下回る額とされました。

一方、「新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため」といながら「ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現（GOTO事業も含む）」に11兆

円以上が投入されます。また、防衛予算が7年連続で過去最大を更新し、宇宙作戦群を新編し米軍と共同しておこなう宇宙監視、護衛艦の「空母化」など軍備増強に歯止めがかかりません。

教職員定数も減

教職員定数の改善については、学年進行で35人学級とするための「少人数によるきめ細かな指導体制の計画的な整備」に744人が措置されています。（これは日本全体の数字ですから、大阪府に70人位、各市町に1～2人にすぎません）

他の措置を含めると、計3141人の定数増となるはずですが、自然減や加配の見直し等による削減が行うため、トータルでは474人の定数減となります。「学校における働き方改革」を言いながら、教職員の長時間過密労働を解消するために教職員を増やすの



ではなく、定数減を行うというまったく逆行したものとなっています。

共通理解と準備？？ のデジタル化推進

教職員定数が改善されないのに対し、「デジタル」や「オンライン」などのICT関連予算は、新規事業や予算増が多くあります。学校教育関係者の共通理解や準備が伴っているのか、不安があります。

GIGAスクールサポーターやICT活用教育アドバイザーなど外部人材の「活用」がいつそうすめられ、民間企業等の参入も広げられようとしています。

「1人1台端末」のもとで、小学校5・6年および中学校等に学習者用デジタル教科書を提供し、その普及促進を図るための予算

が計上されています。宿題など学校の授業以外でも活用できるよう、「クラウド配信」に関する検証も行い、全国的にアンケートを実施してデジタル教科書使用の効果・影響を分析するとしています。

「オンライン学習システム（CBTシステム）」を全国展開するための予算と先端技術・教育データ活用推進の予算が大幅に増額されています。

全国学力・学習状況調査（全国学テ）のCBT化に向けて1万人規模の試行を行う予算が計上されています。

教育予算増額 転換を

2017年の日本の公財政教育支出の対GDP比は2・9%でOECD加盟38か国中、下から2番目です。OECD諸国平均4・1%まで教育予算を増やせば、少人数学級や教育無償化を実現できます。コロナから子どもたちのいのちと健康を守り、成長と発達を保障するためにOECD諸国並みの「20人学級」がいまこそ必要です。

あなたも泉北教職員組合へ